

## 「第 60 回宇部まつり」における省エネ出張診断・相談報告書

日 時 平成 23 年 11 月 6 日(日)11:00～16:00  
場 所 エコ広場(西日本シティ銀行駐車場)  
天 候 曇り時々雨  
担 当 者 松井民男 春木英治  
実施内容 エコ広場来場者を対象に、省エネ診断・相談窓口を開設した。

### ■省エネ診断、相談

- ・全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)が公開している「家庭ですぐ出来る節電 21」の中から19個の診断項目を引用し、モニター画面に表示しながら回答を聞き取り、パソコンに入力、処理後、診断結果をプリントアウトして認定表彰した。
- ・診断は項目毎に、「できている」:3点、「少しできている」:2点、「あまりできていない」:1点、「できていない」:0点の4段階で評価、総得点数で診断した。
- ・診断結果は各項目の消費電力削減率により、**金賞**(85%以上)、**銀賞**(70%～84.9%)、**銅賞**(50%～69.9%)、**努力しよう賞**(49.9%以下)として認定書を発行した。
- ・認定書を手渡す際に、点数の低い項目について改善点等のアドバイスを行った。
- ・東日本大震災の被災地を応援するために、政府広報HPにならって、「応援アクション」として、カードに「〇〇で応援しよう」と記入してもらい、パネルに貼付していった。
- ・診断者数:24人
- ・相談又は質問数:2件
- ・復興アクション協力者数:23人

### 省エネ診断・相談窓口の様子



省エネ診断・相談ブース



省エネ診断・相談中



復興アクション

## ■診断結果

金賞: 17人 銀賞: 5人 銅賞: 2人 努力しよう賞: 0人

### チェック内容と回答数: 受診者数 24人

できている  
 あまりできていない  
 少しできている  
 できていない

人数

No.	質問内容	10	20	24
1	暖房の温度設定を控えめ(20℃)にする	14	10	
2	こたつやホットカーペットなどの部分暖房を活用する	21	2	1
3	暖房時に、窓に空気層のある断熱シートを貼る	7	8	9
4	暖房時にカーテンを閉める	19	5	
5	エアコンのフィルターを掃除する	15	6	3
6	暖房の使用時間を可能な限り短くする(就寝前に1時間消すなど)	20	4	
7	暖房時に部屋のドアやふすまを閉め、暖房範囲を小さくする	24		
8	暖房時に家族がいっしょの部屋で過ごす	20	2	2
9	照明を使う時間を可能な限り短くする	21	3	
10	テレビの画面を明るすぎないように調整する	17	7	
11	電気ポットの保温をやめる	2	1	2
12	炊飯ジャーの保温をやめる	16	5	3
13	冷蔵庫を壁から適切な距離を離す	21	1	2
14	冷蔵庫の温度設定を強から中にする	18	6	
15	お風呂の自動保温を止める	21	1	2
16	衣類乾燥機や洗濯機の乾燥機能を使わない	24		
17	保温便座の温度設定を下げる	23		1
18	使わないときには便座のふたを閉める	22	1	1
19	使用していない電気機器はコンセントから抜き、待機電力を減らす	18	4	2

## ■考察・感想

- ・ 親子づれが多く、子どもたちが診断に興味深く見ていたことが印象的だった。
- ・ 受診者全員が、暖房時にはドアやふすまを閉め、また、洗濯乾燥機も使用しないと回答していることから、節電意識はかなり広まっていると思われる。
- ・ 全体的に節電が生活スタイルになっている方が多く、それぞれのチェック項目も日常的に取り組んでいる様子だった。
- ・ 復興アクションにはほとんどの人が快く協力してくださった。

以上